とちぎ農産物マーケティング協会 月刊情報

平成30年 1月号 vol.124

新年のごあいさつ　　代表理事会長　髙橋　武

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には、新たなお気持ちで新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、農産物の産地間競争が激しくなる中、当協会では、生産から流通・販売・消費までの対策を総合的に推進し、県産農産物のイメージアップ、ブランド力の向上、販路拡大や消費者に対する知名度・信頼性の確保に努めており、今年度は「スカイベリー」、「とちぎ和牛」、「なすひかり」に加え「にっこり」の4品目をリーディングブランドとして位置付け県産農産物全体のブランド力向上のための事業を展開しています。

今年度の新たな取組としては、いちご反収アップセミナーを開催し、いちご王国とちぎの更なる生産技術の底上げを進めるとともに、とちぎ和牛おもてなしキャンペーンでは対象地域を拡大するほか、3銘柄のお米を食べ比べる米－1コンテストの開催や県内5大学の食堂で県産米を使用したメニューの提供など県産農産物のブランド力向上のための事業を展開しています。今春から始まるデスティネーションキャンペーンに向けては、県内外の消費者へ美味しさと魅力を伝え、栃木県への誘客促進と県産農産物の消費拡大に取り組んでいきます。県産農産物輸出では、シンガポールのとちぎ和牛のバイヤーに加えて、東南アジアの青果物バイヤーを県内産地に招へいし、にっこりの栽培状況や選果施設等を視察するほか、生産者や農業団体との意見交換を通して信頼関係を構築し輸出拡大と継続的な輸出に努めております。

今後とも、国及び県の施策に呼応しながら県産農産物の分野で「選ばれるとちぎ」の実現を目指して鋭意取り組んで参りますので、皆様方のより一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。結びに、本年が皆様にとりまして幸多い年になることを心からご祈念申し上げ年頭のあいさつといたします。

◆とちぎ米-1コンテスト2017開催

12月６日(水)栃木県総合文化センター特別会議室にて、とちぎ米-１コンテストを開催し、県内の消費者70名が参加した。

第1部　五ツ星お米マイスター澁谷梨絵さんの講演

「お米の種類と特徴、料理にあったお米選び」と題し、お米の選び方や、保存方法など、また栃木米の評価などについて講演頂いた。

第2部　とちぎ米-１コンテスト2017

県内良食味米生産の取り組みを消費者等に情報発信し、実力あるとちぎ米「コシヒカリ・なすひかり・とちぎの星」の認知度向上を高め消費拡大を図るとともに、さらなる品質・食味向上を目指し生産意欲の高揚を図るため、「とちぎ米-１コンテスト2017」を開催し、優秀な生産者には表彰を行うことを目的に開催した。

出品米点数は、総合数128点(コシヒカリ78点　なすひかり19点　とちぎの星31点)が出品。

特別審査員３名（米・食味鑑定士芦垣裕氏、米・食味鑑定士渡邊仁氏、五ツ星お米マイスター澁谷梨絵氏）を含む審査員により審査され、それぞれの銘柄ごとに、大賞・金賞・銀賞が選ばれた。

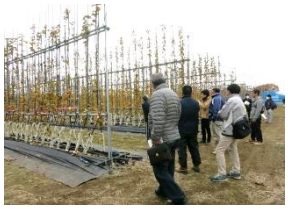
●コシヒカリの部　　大賞　荒巻　亨様(さくら市)
金賞　小滝昭栄様(矢板市)　銀賞　保足　清様(足利市)
●なすひかりの部　大賞　露久保一夫様(那珂川町)
金賞　渡辺嘉久様(大田原市)　銀賞　加藤宗史様(さくら市)
●とちぎの星の部　大賞　宮田良夫様(小山市)
金賞　檜山宗一様(茂木町)　銀賞　内堀雅司様(小山市)

受賞者の皆様、本当におめでとうございます。

また、参加した消費者も、審査会と同じ内容で、９種類の米の食べ比べを行い、それぞれの食味や香り、艶などの違いを楽しんだ。

なし大苗育苗施設視察研修

12月１日、千葉県白井市になし大苗育苗施設「しろいの梨育苗センター」を視察した。
本施設は、白井市梨業組合が立ち上げた施設で、ジョイント栽培等にも活用できる３～４ｍの苗を供給している。これにより、老木化したなし園の改植が進み、産地の後継者・担い手の確保につながるものとして期待されている。



とちぎの食肉まつり

県産食肉の普及と消費拡大を目的に12月２日(土)３日(日)の二日間にわたり宇都宮城址公園で「とちぎの食肉まつり」(当協会など13団体で構成する実行委員会主催)が開催された。県内の精肉店や食に関係する関連団体が出店し、二日間で約8,000人の来場者がバーベキューや肉類の買い物を楽しんだ。
ステージイベントでは、「とちぎ野菜サポーター」の南谷志保さん(野菜ソムリエ協会)による県産野菜・食肉を使用した料理教室が行われ、県産農産物の消費喚起及びイメージアップが図られた。

なし部会長副部会長会議の開催

12月11日、宇都宮市内において、県内農協なし部会の部会長並びに副部会長を対象とした会議を初めて開催した。
本会議では、各産地の抱える課題や対応策等について、活発な意見交換が行われた。
また、これを機に産地間の交流が進むことが期待され、今後も継続して開催していくこととなった。

栃木アスパラガス産地情報交換会

県産アスパラガスの生産振興を図るため12月12日(火)にＪＡ全農とちぎ生活部で「栃木アスパラガス産地情報交換会」を全農とちぎと共催で開催し、県内のアスパラガス生産者約110名が参加した。
長崎県県央振興局の重松武氏から「半促成長期どり栽培の増収技術について」講演をいただき、参加者から好評を得た。情報交換の場では全国のアスパラ産地の加工品を紹介し、参加者に試食いただいた。アスパラガスのスープやドレッシング・ピクルス・うどんなど本県としても加工用アスパラの出荷拡大を考える機会となった。

とちぎのお米を食べよう！～幼稚園編～

12月13日(水)恵光幼稚園（宇都宮市）にて、とちぎの美味しいお米３銘柄「なすひかり」「とちぎの星」「コシヒカリ」の美味しさを、年長園児を対象におにぎりを作りを通して栃木県産米の美味しさを伝え、園児を持つ保護者へ、イメージアップや幼稚園給食への利用促進を図った。
またサプライズゲストとして、とちまるくんの出演に園児たちは大喜び！更に会場を盛り上げた。

栃木県冬春トマトグランプリ第１回本審査

12月18日(月)～19日(火)の二日間にかけて、県・全農・当協会などの審査員が第11回栃木県冬春トマトグランプリの１回目審査を行った。本年度は「越冬長期どりの部」として７ＪＡ、９名の生産者から出展があり、品質・収量性・生育状況・病害虫予防・ほ場環境等の立毛審査と食味等の品質審査を実施した。３月予定の第２回本審査、７月の最終審査会を経てグランプリが決定される。

栃木県産農産物産地視察研修会開催

12月26日(火)下都賀管内・河内管内にて、県内外のホテル・レストラン等のシェフ・料理人25名を対象に産地視察研修会を開催し、栃木県産農産物の生産状況や特徴などの情報を伝え、生産者と実需者との相互理解を深めると共に各施設への利用促進及び消費拡大を図った。

また、とちぎの地産地消推進店「宇都宮餃子さつき」で、視察先の農産物を使用したメニューを提案し、美味しさを紹介した。

とちぎの地産地消推進店　宇都宮餃子さつき

いわふねフルーツパーク　プチぷよ視察

新里ねぎ視察　新里ねぎ生産組合 麦島組合長

原木しいたけ視察　吉村農園

とちぎ自慢の食材を味わうキャンペーン　メニューフェア

栃木農産物イメージアップ研修会に参加された飲食店を対象に、とちぎリーディングブランド農産物「とちぎ和牛」「なすひかり」「にっこり」「スカイベリー」のいずれか1品を使用したメニューフェア、「とちぎ自慢の食材を味わうキャンペーン」を平成30年1月31日(水)まで、県内外の飲食店29店舗にて開催。
飲食店をご利用された消費者に、栃木県産農産物の消費拡大を図る共に、「食」でのイメージアップや認知度向上に繋げ、栃木県産農産物のファンづくりを目指す。

•参加店情報は協会ホームページ　http://www.tochishoku.shop/

とちぎ自慢の食材を味わう
キャンペーン

道の駅しもつけ 食のオープンスクール まるごと栃木特産物料理教室

県産特産農産物「かんぴょう」「こんにゃく」「落花生」×県産「鮎」のスペシャル料理

とちぎの特産物をつかって料理を習ってみませんか？
知っているけれどもレパートリーが…栃木の特産物をもっと気軽に食べてみよう！

開催日時：**2018年2月17日(土)　AM10:30～PM1:30**
参加料金：1,500円
参加資格：どなたでもお申込いただけます。
受付日時：2018年1月18日(木)電話：9:30～18:00/ﾒｰﾙ：9:30～24:00
※応募者多数の場合は抽選を行います。当選結果は「参加のしおり」の発送をもってかえさせていただきます。

お問い合わせ お申込み先	道の駅しもつけ食のオープンスクール運営事務局 専用電話番号：028-635-2577 ホームページからはhttp://www.kanpi-shimotsuke.co.jp/open-school/

主催:（一社）とちぎ農産物マーケティング協会×栃木県漁業協同組合連合会　　協賛:道の駅しもつけ

－第46回とちぎ蘭展－

開催期間：2018年1月10日(水)～1月15日(月)　10:00～20:00〔入場無料〕
会　　場：福田屋ションピングプラザ宇都宮店　3階　大催事会場
主　　催：栃木県洋蘭生産組合

毎日先着100名様(お買い上げの方)に、洋蘭の切り花をプレゼントいたします。
大即売会開催　洋蘭10,000鉢以上

－第67回関東東海花の展覧会－

開催期間：2018年2月2日(金)～2月4日(日)
2月2日 12:00～18:00　2月3日 10:00～18:00　2月4日 10:00～12:30
会　　場：サンシャインシティ文化会館2階　展示ホールD〔入場無料〕

花に対する理解を深め、一層の花の消費拡大を図ることを目的として、関東東海地域の1都11県と花き関係6団体が主催する、日本で最大規模の伝統ある花の展覧会です。

花と苺のフェスティバル

＜笑顔咲かせるとちぎのHanaでフラワーバレンタイン＞
開催期間：2018年２月10日(土)～２月11日(日)　10:00～16:00〔入場無料〕
会　　場：とちぎ花センター

花フェスタが生まれ変わりました。
「見る」「買う・味わう」「体験する」「撮る」のイベント盛りだくさん。
同時開催：栃木県花の展覧会（県内最大規模の花の品評会です）

◆ －新規　とちぎの地産地消推進店－ ◆

店舗名	住所	電話番号 ＨＰ	代表者
DOG SPA RESORT アルトピアーノ	那須郡那須町高久丙4373番地20	0287-74-3870 http://altopiano-nasu.com	橋本　裕史

◆◆◆ １月の予定 ◆◆◆

10日(水)	スーパーコーチ派遣〈デルフィージャパン〉　（壬生町、鹿沼市）
10日(水)～15日(月)	第46回とちぎ蘭展　（宇都宮市：FKD宇都宮店）
18日(木)	スーパーコーチ派遣〈デルフィージャパン〉　（上三川町）
19日(金)	スーパーコーチ〈デルフィージャパン〉　(真岡市)
22日(月)	産地と技の饗宴　栃木フェア　食材提案会　（宇都宮市）
23日(火)	いちご王国グランプリ品質審査会　（栃木市：いちご研究所）
25日(木)	スーパーコーチ派遣〈大山氏〉　(壬生町)
27日(土)	第17回栃木のかんぴょう祭り　（下野市：道の駅しもつけ）
29日(月)	なしグランプリ表彰式・研修会　（宇都宮市）
30日(火)～31日(水)	全野研トマトキュウリサミット

一般社団法人 とちぎ農産物マーケティング協会　（平成３０年１月発行）
TEL: ０２８－６１６－８７８７　FAX: ０２８－６１６－８７１５
http://www.tochigipower.com/　☞「カラダにとちぎ」で検索